

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2021年 2月 5日

20家庭アンケート配布 うち 19家庭回答
★たくさんのご協力ありがとうございました。

事業所名：児童発達支援事業所
のびのびりいふ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・1フロアでスペースも限られているので必要なものを場面に応じて出し入れするなどの工夫をしております。	【はい】17【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】・スペースは広いとは言えませんが、晴れている日は公園に連れて行ってくださいませ	・ご意見ありがとうございました。 ・スペースを広げることは限界がありますので、広さだけでなく縦の空間(高さ)なども活用しながら、子ども達がのびのびと過ごせるような環境構成に努めていきたいと思
	2 職員の適切な配置	・午前中は戸外活動など安全面への配慮が特に必要となりますので、お子様2人に対して1人以上の職員を確保し、戸外活動の時は必ず手をつないで移動できるように職員配置を行っております。午後は室内での個別療育がメインとなりますので、お子様3人に1人以上の職員の配置となっております。	【はい】17【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】とても手厚く配置して下さっていると思	・ご意見ありがとうございました。 ・限られた人員の中ですが、全職員がお子様一人ひとりの心に寄り添えるよう関わりを今後もしっかりと行っていきたく思います。 ・また、午後も個別療育と並行しておもちゃを中心とした好きな遊びの時間になっておりますので、子ども同士の関わりや仲介を今以上にしっかりと行っていけるよう、もう少し職員の人員の確保をしていく事を目標としております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関のドアはスライドドアになっております。 ・トイレは幼児用の便器を設置し、お子様が自分でトイレに行くことができるようになる自立支援の手立てとしております。 ・手洗い(洗面台)も子ども用の高さに調整し、踏み台などを使わず自分で手洗いができるようになっており、落下等の事故防止にもなっております。 ・お子様一人ひとりに個人のマークを用意し、靴箱やロッカーなどにマークを貼り、自分の物を自分の場所に片づける習慣がつくように支援しております。 ・一日の流れを写真で提示するなどお子様が自分で見て理解できる視覚支援を環境構成の中に取り入れております。 ・自分の欲しいものを写真で見て要求が出せるよう写真カードを必要に応じて増やしていております。 ・トイレの前の着脱に使うベンチ(長椅子)はアンパンマンのキャラクターを使って、一人ひとりが間隔を空けて安心して座れるスペースを作る	【はい】16【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】2【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・視覚支援に関しては今後も職員で勉強を重ね、より良いものを提供できるよう努めていきたいと思っております。 ・ご家族に事業所への活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思 ・「見て理解する」力が養われる環境構成、関わりや工夫を今後も配慮した支援を心掛けたいと思っております。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・フロア全体・事業所内部の掃除消毒、整理整頓はこまめに行っております。事業所前の外側の清掃も気をつけてこまめに行うようにしております。 ・加湿器、空気清浄機、次亜塩素酸生成機(ジアイノなど)を設置し、室内全体の除菌を行い、感染症拡大の予防に努めております。 ・生活の場面を分けたり、遊びをコーナーに分けて空間を整理して落ち着いて過ごせるようにしたり、食事場面や絵の具遊びなどではマットを敷いて汚れを予防する工夫をしております。 ・今年度は新型コロナウイルスの流行もあり、こまめな換気、アルコールや次亜塩素酸水での消毒を毎日、こまめに実施しました。 ・送迎所にも空間除菌の容器(クレベリンなど)を置くようにし、送迎中も安全面に留意しながら換気を行いました。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】1【無回答】1 【ご意見】清潔で整理整頓されています。子どもがぐっすりお昼寝することもあるくらい安心して過ごせる環境のようです。	・ご意見ありがとうございました。 ・お子様が清潔な環境の中で元気に過ごせるために必要なものは、今後もしっかりと取り入れていきたいと思 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思 ・新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行っていきたいと思
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・PDCAサイクルを意識し、スタッフ間の話し合いを行うようにしております。		・業務改善を進めるためにPDCAサイクルを意識した管理者と現場職員の話し合いを引き続き積極的に行っていきたく思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・特に第三者による外部評価は行っていません。		・第三者評価も今後は取り入れていけるよう地域の関係機関などとのつながりを作っていくことを目標としていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・職員会議と職員研修をサービス提供時間終了後に月に1度ずつ(計月2回)実施しております。例年、外部研修もスタッフが順番でできるだけ参加しておりますが今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、研修に参加できる回数が減っている状況です。		・外部研修においては、現在、案内があったもののみに参加しておりますが、自分たちで探したり開拓していき、研修参加の回数を増やしていきたいと思
1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ご利用開始前に保護者の方と面接をさせていただき、お子様の様子や発達の状態、ニーズなどの聞き取りを行い、それを元にアセスメントを作成し、個別支援計画の作成へとつなげております。	【はい】18【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】計画に沿った支援の結果、どのような成長が見られたか等、記録に残っていると嬉しい	・ご意見ありがとうございました。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、保護者の方との面談後、スタッフ間でモニタリングをしております。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行ってまいります。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントを元に集団療育の中で行う支援、個別療育の中で行う支援をそれぞれ考え、必要な目標を立てるようしております。		<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございました。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、保護者の方との面談後、スタッフ間でモニタリングをしております。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行っております。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思います。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・アセスメントを元に『発達支援』『家族支援』『地域連携』と項目を分け、できるだけ具体的な支援目標を立てております。		<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございました。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 ・個別支援計画の見直しの際は、保護者の方との面談後、スタッフ間でモニタリングをしております。その他、日々の集団活動、個別療育の記録もしっかりと行っております。必要があれば開示できますのでお問い合わせいただければと思います。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・ご家族に了承いただいた個別支援計画を全職員で周知し、連携を取りながら日々の療育を行っております。	【はい】18【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】毎回のその日の様子やどのような支援(遊び)、個別療育の内容等もう少し具体的に知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございました。 ・お子様の発達に寄り添える支援者となれるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めていきたいと思っております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思っております。 ・申し訳ございません。日々の療育の中で、限られたスタッフの人員となっておりますので、記録に時間をかける事にもある程度の制限が出てきます。どれほどご家族のご要望にお応えできるかわかりませんが、ご意見を元にご家族にお子様の様子をしっかりと伝えられるようスタッフで協議してまいりたいと思っております。 ・個別療育の内容等は、半年に一度お渡しさせていただいている『育成経過』に今後、盛り込んでまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・管理者と現場スタッフで意見を出し合い、できるだけスタッフ全員参加で考える体制を整えながら活動プログラムを考えております。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】1【無回答】1 【ご意見】	<ul style="list-style-type: none"> ・ご回答ありがとうございました。 ・行事の係担当や月のプログラムの構成など役割分担しながら全職員がプログラム構成に参加していく体制を整えつつあります。引き続き、スタッフ間の連携体制を整えて向上してまいります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日の利用対象のお子様と土曜日の利用対象のお子様では、年齢層や他施設との併用の有無などの状況の違いがありますので、活動の流れの基本は同じスタイルですが、利用対象のお子様の集団(グループ)のタイプなどに合わせて細かな環境構成や提供するプログラムは変更しております。		<ul style="list-style-type: none"> ・ご回答ありがとうございました。 ・今後もお子さま一人ひとりのねがいに寄り添えるようなプログラムの構成に努めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子やスタッフの関わりを見ていただける機会を作りたいと思っております。 ・土曜日グループでは、幼稚園や保育園などの大きな集団での活動、最終的には小学校就学を見据えた社会性のスキルを身につけていく支援内容をしっかりと考えて行っていきたく思います。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・スライムなどの感覚的な遊び、リトミックや楽器遊びなど音楽に親しむ遊び、感覚統合につながる運動遊び、公園や散歩など戸外活動の4つの遊びをメインに考え、毎日日替わりで集団療育を構成しております。 ・季節感を味わえるような行事や仕事を毎月取り入れ、夏場は水遊び、季節の良い時期をメインとした園外保育(お子さまのみ参加)を行っております。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ご回答ありがとうございました。 ・お子様の成長に彩りを添えていけるよう、季節感のあるプログラムやお子様の成長発達に応じたプログラム構成に今後も務めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思っております。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・朝8時に朝礼を行っておりますが、スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用))を用意し、そのノートで補っております。		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用))を用意し、そのノートで補っております。		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。 	
10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま一人ひとりの日中の様子を個別で記録しております。 ・午後から行う個別療育の記録も日々行い、継続した個別支援ができるようしております。 ・月2回実施の会議と研修の中で必要に応じてケース検討会議も行っております。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も記録をしっかりと行いながら、必要に応じて記録する書類の種類や形態の改善を図っていきたく思っております。 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
関係機関との連携	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。 ・通常、月2回の会議と研修の中でモニタリングを行います。モニタリング前に保護者の方との面談を行っておりますので、その際にお渡しさせていただいている『育成経過』にスタッフ全員からの意見が反映できるよう『育成経過前調査票』を作成しております。		・お子様一人ひとりに合わせた個別支援計画作成の為、今後もモニタリングはしっかりと行っていきたく思っております。	
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・現在、相談支援事業所をご利用の方を対象に、定期的に担当者会議へ管理者が出席し、各関係機関との連携を図っております。		・今後も必要なケースや機会等がありましたら、積極的に参加していきたいと思っております。(相談事業所の利用家庭が増えると支援の輪がより広がるように感じる部分も実際に連携させていただく中であります。)	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	・書面で支援の内容やお子様の成長の様子を新しい進路先へお渡しさせていただいております。 ・ご家族のご了承のもとで、必要な場合は電話での連携も取らせていただいております。		・進路先へ書面だけでなく訪問や電話での連携を積極的に行っていきたいと思っております。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・児童発達支援のみの事業所ですので、現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・ご家族のご了承のもとで、療育センターをはじめ地域の専門機関との連携は図らせていただいております。 ・専門機関での研修も、ご案内頂けた研修に対しては可能な限り参加しております。		・今後も地域の専門機関など関係機関との連携は積極的に行っていきたいと思っております。 ・職員のスキルアップの為、研修への積極的な参加は今後も行っていきたく思っております。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現時点では、そのような交流活動は行っていません。	【はい】6【どちらともいえない】0【いいえ】3 【わからない】10【無回答】0 【ご意見】・このご時世なので交流は中々難しい事だと思います。 ・今年度はコロナの影響もあったからか特に交流の機会はなかったように思う	・ご意見ありがとうございました。 ・地域とのつながりを広めていき、今後、交流が持てるように考えていきたいと思っております。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現時点では、そのような交流活動は行っていません。	【はい】6【どちらともいえない】0【いいえ】3 【わからない】10【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・地域とのつながりを広めていき、今後、交流が持てるように考えていきたいと思っております。	
	保	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・まずはご利用前に、お子様とご家族と一緒に活動を体験していただき、その際に、のびのびりふの活動内容など簡単なご紹介をさせていただいております。 ・ご利用を希望されました方には、後日、面接をさせていただき、その際に持ち物や詳細などご利用案内をさせていただいております。 ・個別支援計画を作成した上でご契約の日を設け、その際に重要事項説明書をお見せしながら利用負担などについてのご説明をさせていただいております。 ・ご利用後に負担内容の変更など重要事項に変更があった場合は、その都度、個別で説明させていただき、その上で同意書を頂いております。	【はい】18【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・皆様に安心してご利用していただくため、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けていきたいと思っております。
		2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。 ・ご家族にお越しいただく形となっておりますが、個別支援計画見直しの際は、お子様の成長の様子を記録した『育成経過』をその都度お渡しさせていただき、ご家族と振り返り・見直しをおこなう面談を行い、新しいニーズをお聞かせ頂いた上で新しい個別支援計画を作成し、再度、日を設けての面談で個別支援計画の説明とご了承をいただいております。	【はい】19【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・ご家族には、日々のお忙しい中、短期間での面談を2回も設定させていただき、ご迷惑をおかけしている部分もあるかと思っております。いつもありがとうございます。お子様のより良い支援の為、今後もご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。
3		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	・ペアレントトレーニングをご家族に行うには職員にも技術や知識の準備が必要となりますので、現段階では、こちらでは実施できておりません。 ・送迎や面談の際に、できる範囲で子育てのご相談はさせていただきます。	【はい】13【どちらともいえない】0【いいえ】2 【わからない】4【無回答】0 【ご意見】・外部で開催分のチラシ案内はよく頂いています。	・ご意見ありがとうございました。 ・【のびのびりふの目的】にもある『ご家族のよりよい関係づくりのサポート』を行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行っていきたいと思っております。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・普段は、送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフがお伝えさせていただいております。半年に一度の定期的な面談と必要に応じての臨時的な面談を行い、そこで発達状況や課題についてはお伝えさせていただいております。	【はい】18【どちらともいえない】0【いいえ】1 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】行き帰りの送迎の際、朝は体調面の確認、帰りはその日にあったこと、できたこと、様子を教えてもらえます。毎日必ず先生と話す機会があるのでありがたいです。	・ご意見ありがとうございました。 ・もっとご家族と一緒にお子様の成長を共有し、一緒に子育てをしていくことができるよう、管理者からの電話フォローを増やし、ご家族の声を聞きしていきたいと思っております。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・普段の送迎では、なかなかゆっくりとご家族とお話ができない状態です。たくさんお話ができていられるご家族とお話できる機会が少ないご家族との差を実感している現状です。	【はい】17【どちらともいえない】1【いいえ】1 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・管理者からの電話フォローを増やし、そこからご家族とゆっくりお話しできる面談へとつなげてご家族のご相談にもっと対応できるよう努めてまいりたいと思っております。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現時点では保護者会などの発足はしていません。秋の親子遠足にご参加いただけたご家族には、少しですがご家族同士の交流を持つ時間を設けさせていただきました。 ・クリスマス会とうんどう会では、なかなかゆっくりと交流していただく時間が作れておりません。 ・今年度は新型コロナウイルスの流行があり、全ての親子参加行事を中止しました。	【はい】5【どちらともいえない】4【いいえ】4 【わからない】5【無回答】1 【ご意見】・コロナの影響で大人数が集まる会は中止になりました。 ・たくさんの保護者と集まるよりも子供と同じ学年、同じ発達具合等、現状の悩みを共感したり情報共有できる保護者の方とお話する機会があれば嬉しいです。	・ご意見ありがとうございました。 ・ご家族間の交流も子育ての中には必要なものであると考えております。今後、職員で話し合いながらご家族同士の交流の機会を設けられるよう検討していきたいと思っております。(クリスマス会やうんどう会は、ぜひ親子でイベントを楽しんでいただければと思います。)
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情対応についてのマニュアルは作成しております。	【はい】9【どちらともいえない】2【いいえ】0 【わからない】8【無回答】0 【ご意見】・苦情があった場合の対応に関してはわかりません。 ・苦情を出したことはありませんが、お願い事や心配事を相談した際も先生の中で情報共有がなされているのを感じております。	・ご意見ありがとうございました。ご家族のニーズ、ねがいにはできる限りの誠実な対応を目指していきたいと思っております。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・普段の事であれば、送迎や連絡帳、電話での対応をさせていただきます。 ・次の進路のことなど面談を中心として一緒に考えさせていただきます。 ・親子行事開催の際は、アンケートを配布させていただきます。ご家族のご意見を聞く場を設けております。	【はい】17【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】1 【ご意見】・苦情があった場合の対応を記入して持たせています。必ず先生からお返事を頂きます。	・ご意見ありがとうございました。 ・地域の情報や進路の話、保護者向けの研修、勉強会のご案内をもっと積極的に発信していきたいようなネットワークづくりを工夫していきたいと思っております。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行事の日程や詳細など必要に応じて臨時で書面のご案内をしております。 ・2019年4月より月一回『のびのびさんだより』というおたよりを発行し、情報発信させていただきます。	【はい】17【どちらともいえない】0【いいえ】1 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】・毎月ののびのびさんだよりを楽しみにしています。月の予定や教材、絵本等の紹介等、毎月違った内容で読むのが楽しみです。	・ご意見ありがとうございました。 ・『のびのびさんだより』を活用し、今後も様々な情報発信ができるよう努めてまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・利用契約を行う際に、個人情報につきましては書面と口頭でお話しさせていただきます。たくさんのご家族が集まる親子行事の際は、必ずインターネットに関する注意をしっかりとさせていただきます。	【はい】18【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・お子様の大事な情報になりますので今後も細心の注意を払って対応していきたいと思っております。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・利用契約時に緊急対応時のお話と感染症対応のお話はご家族の方にさせていただきます。 ・防犯につきましてはのご案内は、保護者の方にはさせていただきます。ご家族の方にはさせていただきます。 ・全ての項目、職員にはマニュアルとして周知しております。	【はい】17【どちらともいえない】2【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・職員間での話し合いの上、必要なマニュアルは作成しております。保護者の方からのご要望があれば開示させていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	・毎年9月にお子様をお預かりしている時間帯に避難訓練をおこなうようになっております。 ・利用契約時に災害時の避難場所につきましてはご説明させていただきます。	【はい】15【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】3【無回答】0 【ご意見】・9月に避難訓練がありました。	・ご意見ありがとうございました。 ・災害時にご家族のご不安が少しでも軽減されるよう、定期的に避難場所の確認をご家族に対して行っていくとともに、避難訓練の様子もお伝えしていきたいと思っております。 ・今後は曜日替わりで毎月、子ども達参加型の避難訓練を実施する予定です。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・毎月虐待防止チェックリストを職員に実施しております。 ・虐待防止研修を年一回、職員間で行っております。 ・外部実施の虐待対応研修も職員が順番に参加できるようにし、積極的に取り組んでおります。		・今後も虐待対応力を職員が身につけていけるよう、積極的に内部研修を行い、外部研修への参加もしていきたいと思っております。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合の対応を職員間で周知しておりますと同時に、万が一その状態が起こった時の記録用紙も準備しております。 ・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		・個別支援計画の中にもしっかりと記載していきたいと思っております。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用前の面接時でアレルギーに関しては丁寧に聞き取りをさせていただきます。 ・現時点では、アナフィラキシーショックなど重篤なアレルギー反応のお子様のケースがございませんので、そのような対応はしていません。		・対象のケースがあった場合は、しっかりと対応させていただきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット報告書の様式を改め、簡素化することによりスタッフが些細なことでも記録し、全スタッフが周知していく事で環境構成の改善やスタッフの対応力の向上へとつなげる取り組みを行いました。		・簡素化することにより記録する数が大幅に増えました。些細な『ヒヤリ』『ハット』に気づき、どのように対応するのか見通しを持つ力、それを全スタッフが周知し、支援への姿勢の改善となるよう努めてまいります。